



ProjectoYOSI インターンシップ参加者アンケート

参加当時:横浜国立大学教育人間科学部人間文化課程 3年

・ボリビアで行かせた特技:何事もポジティブにとらえる能力、なんでも食べること

参加動機

南米で何かしてみたいなと思っている時にインターンの募集を見つけたから。ボリビアに行く前(2017. 4~10)はパラグアイでインターンをしていたのですが、パラグアイ飽きたなと思っていて、違う国に行ってみたくなったから何か活動できそうなプロジェクトや国を探していました。

感想

毎日何かあって楽しかったです。日本じゃない、自分にとって異世界であるボリビアにいたからこそ、目を光らせて、感覚を研ぎ澄ませて毎日を過ごすことができました。そして、気づいたらボリビアが異世界じゃなくなって、自分が普通にボリビアに暮らしていて、友達とお出かけしたり、家で映画見たり、アイス食べに行ったり。振り返ってみるとそんな感じで、懐かしいなって思うのが寂しいです。

どうやったら日本語の勉強が楽しくなるか、どうすれば日本語の勉強へのモチベーションがあがるか、毎日考えながら活動しました。ただただ自分の力不足だったので、何か目に見えて残せたこと
はないです。だからやり遂げた、と言えることはないのですが、インターンの活動に自分なりの充実感がありました。

学んだことは、まずは何事も受け入れることが大切ということです。ラパスの空気感、景色、人、食べ物、道路、店、動物、乗り物、自分にとっては新しいものだらけで最初は自分が自分じゃないみたい、なんか不思議な感じがしました。でも、とりあえずイエスマンになって自分の中に全部取り込んでいったら、ちょっとだけ気持ちも落ち着いて、ゆっくり考え事ができるくらいになりました。そうじゃなかったら、遅刻とか宿題やってこないとか、バス止まってくれないとか、いつも曇りとか、道が少し汚いとか、お皿ちゃんと洗ってるのかなとか、いろいろ気になっちゃって、生きていけなかったと思います。インターンを終えてからわかったのですが、この受け入れるかってボリビアだから、とかじゃなくて、どこでも必要なことなんだ、と。

だからといって、ただイエスマンでへらへらしていればよかったわけでもなくて、日本語のクラスの学生さんたちとどうやって向き合っていけばいいのか、真剣に考えました。そしたら、やる気のある人たちはそれにこたえるように一生懸命やってくれました。私のことを先生とかじゃなくて、人間として受け入れてくれた感じがして嬉しかったです。だから、言葉が全部伝わらなくても、気持ちがうまく伝えられなくても、見えるものは見えるし、伝わることは伝わるんだなと気づかされました。

ProjectoYOSI S.A

Add. Via Israel entrada de corredor sur, Ed. TerraSOL piso 26,
Ciudad de Panama, Panamá

Mail: yoshi@yosip.org

Phone: +519 73241121

FB ProjectoYOSI: <https://www.facebook.com/projectoyosi>

Website: <http://www.yosip.org>



ProjectoYOSI インターンシップ参加者アンケート

よしさんの印象

てきぱきしていて、自分自身を一番に信頼している印象。でも自己中とかではなくて、お客さんやインターンの私のこともしっかり考えてくれているというのは伝わってきました。たまに話を聞いてくれたり、どんな経験を私に提供すれば私にとってプラスになるか考えたりしてくれたり、ボスとしての役割を果たそうとしてくれていて(十分すぎるくらい果たしてくださりました)嬉しかったです。例えば、日本語の個人クラスのために家を解放してくれたり、ウユニのツアーに同行させてくれたりしたこと。私は日本語教育に興味があったとか、観光に興味があったとかではなく、単純にボリビアを知りたい、という思いが一番大きかったのですが、よしさんが準備してくださった環境の中で、人との距離感の縮め方や、楽しませ方、信頼してもらい方など学ぶことができました。「最近どう〜？」という会話をたまにするくらいの距離感がちょうどよかったです。あと、料理が上手で、美味しいものたくさん食べさせてくれたり、料理の楽しさを少し理解できたり、私にとって新しい発見をたくさんすることができました。

ボリビアにきて良かったこと

よかったことは、今まで出会ったことのない人に出会えて、触れたことのない文化に触れられて、味わったことのない気持ち(変な意味じゃないです)を知れたことです。悪かったことは、ボリビアのせいにしたらダメだとは思んですけど、マイペースに磨きがかかりました。

なんでもコメントパート

このアンケートをきっかけに、インターンをしていた時のことを振り返ることができました。普段は意識していないけど、ボリビアでの経験が今の自分の一部になっているんだな、と気づけてちょっと嬉しい気持ちになりました。

あとあとあと、このインターンに参加してなかったらよしさんにもゆりさんにも出会えてなかったし、ひなほちゃんとも知り合えてなかったし、これからほかのインターン生にも会えるかもとか考えるとワクワクしちゃってます。半年のインターンだったけど、それっきりでなくて、これからもインターンの経験は生きてくると思っているし、素敵な出会いを大事にしていきたいと思っています。